

第5回 リレー講座 4.9.10

2022 第5回 リレー講座を以下の通り施しました。多数のご参加ありがとうございました。参加者の皆様の様子をご覧ください。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

担当者 群馬大学共同教育学部附属教育実践センター
教授 吉田 浩之 先生

日程等 9月10日(土)

場所 C105

講義内容 いじめの重大事態への対応 法、通知、事例等に基づく最新動向

- ・ いじめの重大事態の事例
- ・ いじめ問題の重大な事例（群馬県）
- ・ いじめ問題に関連する学校の問題点
- ・ いじめの重大事態への対処の開始
- ・ いじめの認知と判断の事例
- ・ 実際の学校対応事例



参加者の声より一部抜粋

とても興味深く楽しく学ぶことができました。教員採用試験前に受講できていたら、ロールプレイのときに役に立ったなあと感じました。来年度も受講したいです。

いじめの対応は、法と判例などを根拠に行うことが大切であると認識できました。対応したことについて説明できないと大変なことになってしまうと思いました。このことを先生方が認識していないと組織的に対応できないので、学び続けることが大切だなと感じた。

いじめや不登校への対応ということで、現実的に身近に起こり得ることへの適切な対応方法を学ぶことができました。また、法に基づいたいじめの認知や対応について知ることができました。問題が大きくなる前に、早期対応、解決に向けて適切な対処をしたいと思いました。

本年度の研修も大変勉強になりました。90分があつという間でした。

重大事態につながるかどうかを判断するために、まずは、正確にいじめを認知することが大切であると改めて気付いた。そして、組織的に対応し、その後さらなる事案が発生しないように対策したり、子供に寄り添って対応したりすることが必要なのだと感じた。

法律に基づいて、被害が広がらないように、適切な対応することが大切だと分かりました。現在、生徒指導主任をしているが、本校ではこのような意識をもつ教員の数が少ないと思うので気を付けたいと感じた。事例を基に考える研修等を取り入れたと思う。

具体的な事例を基に法的根拠等を示していただきながら、わかりやすく講義していただいたので大変勉強になりました。

誰もが陥りそうなことばかりで、様々な事例、法を学ばなければならないと思いました。現場の先生方にも伝え、広めたいと思いました。ありがとうございました。

いじめ問題は、いつ起こってもおかしくないことだということを常に念頭に置いて、日頃の児童観察、学級経営に取り組んでいきたい。また、いじめは組織的に対応すること、校内いじめ対策委員会に報告することを怠らないようにしたい。ただこういったことを知っている教員は多くはないと思う。やはり、研修等で知識をアップデートしていかなければならないと考える。